

明保通信 4月号

校訓 考える学校

教育目標 すすんで学び 心身ともに健康で 思いやりのある人になる

西東京市立明保中学校

令和7年度も

一日一善



明保中マスコット
めい 明 ふくろうさん

校長挨拶

西東京市立明保中学校

校長 澤井 稔

昨年度に引き続き、校長を務めます、澤井 稔（さわいみのる）と申します。明保中学校3年目となりました。どうぞよろしくお願いいたします。昨年度は、保護者・地域の皆様のご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。今年度もコミュニティ・スクールとして地域学校協働活動を推進し、学校・保護者・地域の力を結集させ、生徒が「明日も学校に行きたい」、保護者が「安心して子どもを送り出せる」と思える学校づくりを進めてまいります。今年度は、6名の教職員が加わり、新しい発想・柔軟な対応を組織的に行いながら、期待に応える教職員集団として努めてまいります。何卒、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年度も生徒に「一日一善」を意識した生活と「社会性」をしっかりと身に付け、人としてふさわしい行動を心がけてほしいと伝えました。生徒も教職員も善い行いを意識し、主体的に行動することで、笑顔のあふれる学校になるよう努めて参ります。今年度も家庭や地域で、お子様を温かく見守っていただきますようお願いいたします。

令和7年度 学校経営方針 教育目標を達成するため、以下の活動を重視します。

1 「一人じっくり考える活動」「自分の思いや考えを人に伝える活動」を重視する。【未来でもつかえる学力】

- (1) 生徒主体の授業を行い、生徒に考えさせる活動を取り入れることで、これまでの知識や経験を活用しながら自分の頭で考える思考力、他者との協働からこれまでにない発想で地球規模の課題に対してもダイナミックな発想で立ち向かう創造力を育成する。
- (2) 自分の考えを整理し、目的意識をもって、相手に自分の思いや考えを分かりやすく説明する活動を取り入れることで、人を説得したり、互いに話し合ったりするために必要な判断力や表現力を育む。

2 「人から感謝される活動」「人から必要とされる活動」を重視する。【自分とまわりの人を愛し大切にできる心】

- (1) ボランティア活動や地域学校協働活動等を充実させ、地域や学校のために行動し人から感謝される体験を取り入れることで、自分も他人も大切にできる心や態度を育む。
- (2) 学年行事や学級活動等で、当番活動や係活動を充実させるとともに、教科以外での活躍も認められる場を設定することで、自分が人から必要とされていて、生きるに十分値することを実感させる。
- (3) 生徒の可能性を信じ伸ばす声掛けや教育支援の充実を通して、生涯にわたって、自信をもって、自分を大切にしながら、前向きな姿勢で物事に取り組む生徒を育成する。

3 「運動の得意・不得意に関わらず皆で一緒に体を動かす活動」を重視する。【未来でもつかえる体力】

- (1) 保健体育科の授業や学校行事等で、皆で楽しく体を動かす活動を取り入れることで、性別や障害の有無に関わらず生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育成する。
- (2) 運動の苦手な生徒でも無理なく楽しく体を動かす活動を取り入れることで、運動の得意・不得意に関わらず、人と一緒に運動することの楽しさや大切さを実感させる。

4 「生きている喜びや楽しさを実感できる活動」を重視する。【仲間や自然を愛し大切にできる心】

- (1) 自然にふれあう活動を通して、生きることの素晴らしさ、人間や地球の偉大さを実感させ、生きることや自然環境を守ることの大切さ、困難な課題に対してもあきらめずに挑戦する心を育成する。
- (2) 仲間に自分の特技を披露したり、目立たなくても一生懸命取り組む仲間の姿を見たりすることで、仲間を認め合い、他者との協力を通して自己成長や達成感、共に生活する喜びを感じられる姿勢を育成する。